

第32週(8月8日～8月14日)の集計結果

コメント

【今週の傾向】

今週は、14定点中12定点からの報告です。

○ヘルパンギーナは、定点あたり5.3人と、先週(定点あたり8.4人)に比べ減少していますが、依然警報レベルです。

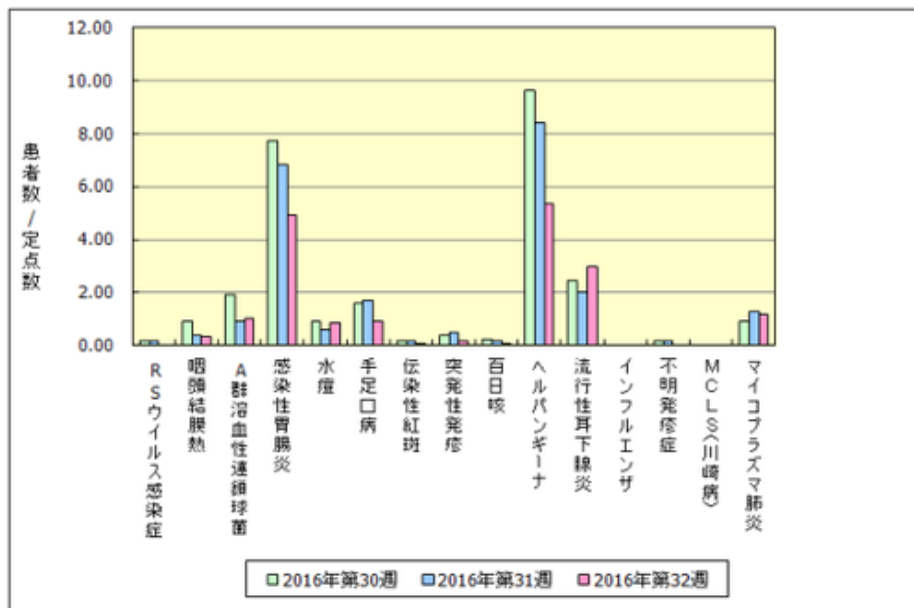
症状が落ち着いても、便からウイルスが長期に排出されます。手洗いをしっかり行いましょう。

○感染性胃腸炎も、定点あたり4.9人で、先週(定点あたり6.9人)に比べ減少していますが、これは夏季休診の影響もあると思われます。

○流行性耳下腺炎は、定点あたり3.0人で、先週(定点あたり2.0人)と比べ増加し、注意報レベルとなりました。

○マイコプラズマ肺炎は、定点あたり1.2です。2016年は、2014年・2015年に比べ、報告数が多い状況です。

○感染の予防、まん延の防止のために、咳エチケット及び手洗い、排泄物・吐物の適切な取り扱い(消毒)等を引き続き確認しましょう。



第32週疾患毎発生状況グラフ

	2016年 第27週	2016年 第28週	2016年 第29週	2016年 第30週	2016年 第31週	2016年 第32週	第1週から の合計
RSウイルス感染症	0→	1↑	3↑	2↓	2→	0↓	79
咽頭結膜熱	14→	18↑	8↓	13↑	5↓	4↓	311
A群溶血性連鎖球菌	45↓	47↑	31↓	27↓	13↓	12↓	1238
感染性胃腸炎	161↑	129↓	101↓	108↑	96↓	59↓	4311
水痘	15↑	3↓	15↑	13↓	8↓	10↑	210
手足口病	6↓	11↑	13↑	22↑	24↑	11↓	120
伝染性紅斑	5↑	1↓	0↓	2↑	2→	1↓	129
突発性発疹	8↓	10↑	8↓	5↓	7↑	2↓	231
百日咳	0→	1↑	1→	3↑	2↓	1↓	31
ヘルパンギーナ	54↑	93↑	67↓	135↑	118↓	64↓	565
流行性耳下腺炎	41↑	28↓	34↑	34→	28↓	36↑	638
インフルエンザ	0→	0→	1↑	0↓	0→	0→	6930
不明発疹症	1↓	2↑	4↑	2↓	2→	0↓	62
MCLS(川崎病)	0→	0→	0→	0→	0→	0→	4
マイコプラズマ肺炎	9→	13↑	11↓	13↑	18↑	14↓	361

第32週疾患毎発生状況表

第32週	RSウイルス	咽頭結膜熱	A群溶血性連鎖球菌	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発疹	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	インフルエンザ	不明発疹症	(川崎病)MCLS	マイコプラズマ肺炎
～5ヶ月	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
～11ヶ月	0	0	0	5	0	2	0	1	0	7	0	0	0	0	0
1歳	0	2	1	8	0	3	0	1	0	15	2	0	0	0	0
2歳	0	1	3	10	1	1	0	0	0	17	1	0	0	0	0
3歳	0	0	0	3	2	2	0	0	0	8	3	0	0	0	2
4歳	0	1	2	4	3	1	0	0	0	7	5	0	0	0	2
5歳	0	0	1	7	3	1	1	0	0	7	1	0	0	0	2
6歳	0	0	3	3	0	1	0	0	0	3	12	0	0	0	2
7歳	0	0	1	6	1	0	0	0	0	0	4	0	0	0	1
8歳	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	2
9歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	2
10～14歳	0	0	1	6	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
10～12歳												0			
13～14歳												0			
15～19歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20歳以上	0	0	0	3	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
合計	0	4	12	59	10	11	1	2	1	64	36	0	0	0	14

第32週年齢別発生状況表